

# 彼方小だよ！

児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和4年11月号

「 Hello everyone! 」

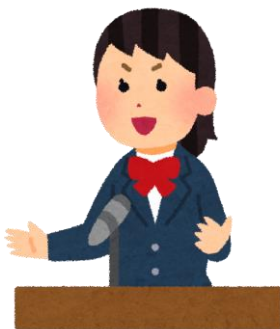
校長 藤井 貞彦

朝夕の冷え込みが厳しくなり、秋を通り越してまるで冬がやってきたかのようです。おかげさまで天候にも恵まれ、運動会も無事に開催することが出来ました。今年もコロナ対応で入場制限を設けましたが、多くの保護者の皆さんにご参加いただき、盛況のうちに終わることが出来ました。PTAの役員をはじめ各委員の皆さん他、多くの保護者の皆さんに片付けまでお手伝い頂きました。本当にありがとうございました。

「Hello everyone! My name is ○○」すばるホールに子どもたちの元気な声が響き渡りました。10月23日(日)富田林市の英語弁論大会が3年ぶりに行われました。本校からも4人が参加して、それぞれ立派なスピーチを披露してくれました。

しかし、そこに至るまではいろいろとありました・・・運動会の練習や他の行事への取組み、その他にも様々な事情でスピーチの練習がなかなか進んでいなかったようです。そこで、本番三日前の木曜日には第三中学校のスクールサポートスタッフの学生さん、金曜日には富田林市のALTのマット先生にそれぞれ練習をみてもらい、アドバイスをいただきました。私は両日とも練習に立ち会いました。

「とてもいい声が出ているね。 ワンダフル！(wonderful!)」「グッジョブ！(good job!)」「とても上手だね、自信をもって。」ほめられるたびに子どもたちの声は大きくなり、自信に満ちた表情になっていきます。「大事なところはゆっくりはっきりと言おう。」「身ぶり手ぶりを付けるともっとリラックスできるよ。」「写真や絵を見せてみたら。」適切なアドバイスをもらい、どんどんその気になっていきます。子どもたちの目の輝きが変わったのが感じられました。前日の土曜日にも一生懸命練習したので、日曜日の本番は、大勢の観衆の前でも物おじすることなく、堂々とスピーチを披露していました。



正直に言うと私は小学生の英語のスピーチはあまり好きではありませんでした。スピーチではなく覚えたことをただ話すだけの暗唱のように感じていました。しかし、今回の弁論大会では本校だけでなく、どの学校の子たちもスピーチの内容をしっかりと理解して、観衆に伝えようとする気持ちがひしひしと伝わってきました。子どもたちが頑張って取り組んできた姿が思い浮かんで、感動で涙が出そうになりました。

子どもたちにさせるのではなく、子どもたちが意欲的に取り組むように課題を設定して、適切な指導・助言をして達成感を味わわせることの大切さを改めて感じました。

本校では、今後も子どもたちの豊かな可能性を引き出し、何事にも挑戦していく姿勢を育てていきたいと考えています。ご家庭でも変わらぬご支援ご協力をお願いします。